



**※卒業文集に寄稿したものを紹介いたします。**

## 年の離れた友人

以前、子供たちに、「学校では『校長先生』とか『小崎先生』などと呼ばれているけれど、もしも学校以外で会った時は、『こさき さん』か『こうじ おじちゃん』って呼んでね。」と、お話ししたことがあります。児童からの教職員に対する呼称としてふさわしくない場面もあるので、校内においては積極的に奨励はできませんが、個人的には、「先生」という学校独特の敬称よりも丁寧で自然な呼び方だと思っています。

児童に対しては、仲良くするだけでなく、大人として、さらに教師として、けじめを持って指導しなければならないことや、ある程度距離をおいて諭さなければいけないことがあることは自覚しています。ただ、子供たち一人一人も独立した人格を持っており、学校内においても、年齢や立場とは無関係の対等な一個人同士として、常に尊重し合いたいと考えながら子供たちと接してきました。

私には現在、多くの友人がいます。学生時代の同級生や部活動の先輩・後輩、これまでの勤務校で出会った同僚や、担任学級の子供たち（現在は全て成人）、市民センター勤務時に出会った方々、趣味のバンド仲間など、私の生活に潤いを与えてくれたり、喜びを分かち合ったり、時には支え合うことのできる掛け替えのない存在です。（校長室だより2022年1月14日号「本当の友達」より再掲）

私が郡山小学校に赴任して2年が経ちました。職場の同僚の中にも、心から信頼できる新しい友人ができました。赴任したとき5年生だった皆さんとも、2年間でとても仲良くなることができました。そこには、教師と児童という関係だけではない、年齢を超えた友情を感じています。

友情は、年齢に関係なく、同じ目的に向かって心が一つになったときに芽生えるものです。私と皆さんとの友情は、郡山小学校をより良くするために、日々、共に全力で学校生活を送る中から生まれたものだと思います。特にこの1年間、皆さんは最上級生として学校を支え、大活躍してくれました。心から感謝しています。

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。これからも友人として、よろしくお願ひします。

私を街で見かけた時は、大きな声で、

「こさき さーん！」「こうじ おじちゃーん！」

と呼んでくださいね。

また会える日を、楽しみにしています。

..... 切り取り線 .....

子供たちのための、意見・提案・要望・校長に知らせたいこと など

**2022年3月16日（ ）年（ ）組 児童氏名**

※メールでも随時受け付けております。kosaki-k@sendai-c.ed.jp（校長直通）